

登録コード	E2700900	開講年度	2026				
授業科目	木材加工基礎					担当教員	村松 浩幸
英文授業名						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	2年生以上
講義室	教育W 1 1 2			授業形態	講義・実技	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				技術倫理の観点から木材加工技術を捉え、適切に評価・管理・運用ができるようにする。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				木材加工についての基礎的な理解や技能を身につけ、木材加工の指導ができるようにする。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各内容の理論的な学習をした上で、実習にも取り組む。各実習で達成すべき技能レベルに達しない場合や小テストで基準点に達しない場合は、再試験の機会を設ける。						
(5)授業計画	第 1回 : 材料加工学習のねらいと設計の基本 第 2回 : 製図の歴史と基礎 第 3回 : キャビネット図と等角図の実習（実技テスト含む） 第 4回 : 投影法の実習と3DCADの活用 情報機器の活用を含む 第 5回 : 木材の種類と性質および自動鉋盤の使い方 第 6回 : 差し金の使い方と罫書きの基本 第 7回 : 切断の基本 教育実習受講者は、所定の補講を受講する 第 8回 : 切断の実習（実技テスト含む）および昇降盤の使い方 教育実習受講者は、所定の補講を受講する 第 9回 : 鉋がけの基本 第10回 : 鉋がけの実習（実技テスト含む） 第11回 : 部品の検査と評価 第12回 : 部品加工の相互評価 第13回 : 組み立てと塗装の基本 第14回 : 木材加工と情報技術の関係とまとめ（含む授業アンケート） 定期試験						
(6)成績評価の方法	試験（実技も含む）（40％・木材加工，製図の理論や知識，技能），課題の成果（40％・加工技能），実習（身支度も含む）の取り組み（20％・製作指導力）で総合して評価。 ・課題および実習については，課題毎に書式，内容，完成度等の評価項目を設定し，5段階でポイント化した総得点を演習課題評価とする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	・演習により時間を割けるように，Google Classroom上に事前学習課題や参考資料を提示しておく。なお，60分以上の事前学習が必要である。また，授業後は復習の課題や演習課題を共有し，学習内容の定着をはかる						
(8)事前事後学習の内容	・演習により時間を割けるように，eAles上に事前学習課題（小テスト）や参考資料を提示しておく。なお，60分以上の事前学習が必要である。また，授業後は復習の課題や演習課題を共有し，学習内容の定着をはかる						
(9)履修上の注意	(1)製作実習時は，作業服またはつなぎと帽子を必ず着用のこと 身支度ができていない場合は，実習ができない。 (2)鉋と鋸を準備（授業中に指示）。材料費が1,500円程度かかる。 (3)実習課題が間に合わない場合は，適宜授業外にも取り組むこと。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	研究室 木曜日 13:00～14:00 238-4175，muramatu@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	授業において適宜指示する						
【参考文献】	中学校技術・家庭科技術分野教科書（東京書籍）						